

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌東高等学校長 須藤 克志

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

## 1 本年度の重点目標

- (1) 教育課題を把握・理解するとともに、保護者等の考えや国等の動向を踏まえ、解決策を幅広く検討し、教育活動の改善・充実に努める。
- (2) 学校・学習評価等をカリキュラムマネジメントと関連付けて効果的に実施し、社会に開かれた教育課程の実現に努める。
- (3) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善を推進し、個別最適で協働的な学びの実現に努める。
- (4) コンプライアンスを徹底するとともに、連携・協働体制を確立し、期待や信頼に応える魅力ある学校づくりに努める。

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>適時適切なICTの活用等、個別最適及び協働的な学習環境の推進が必要。</li> <li>生徒の学習意欲に繋がる適正な観点別評価に向けての研修が必要。</li> <li>「総合的な探究の時間」でのフィールドワーク実施など、地域と連携した課題解決型探究活動の推進が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組は概ね良好である。</li> <li>・学力及び能力の向上について、因果関係と定量的結果が示せるよう期待する。</li> <li>・保護者の期待に応える教科指導力の向上に向けた取組が必要である。</li> <li>・地域との連携を高めたり、外部資源を活用した学習指導の推進を期待する。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、校内外の研修等の受講推進。</li> <li>・教科・科目の特性を踏まえた探究的な学習の推進に向けた各教科における研究と実践の推進。</li> </ul>	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校祭や見学旅行等の機会を活用し、自己有用感や自己肯定感、集団への帰属意識を高められた。</li> <li>・校内外の生活における規範意識の醸成と実践に係る時機に応じた指導の充実が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組は概ね良好である。</li> <li>・コミュニケーション能力や人間関係や集団形成を構築する能力の向上に向けた取組を期待する。</li> <li>・校内外でのSNSの適切な利用等について、自律的に行動することの目的や意味を生徒が経験的に理解できる踏み込んだ指導を期待する。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力及び対人関係能力等の育成や規範意識の向上について、入学した1年生への初期指導プログラムを令和7年度から組織的・系統的に実施。</li> </ul>	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「キャリアトーク」「医学部メディカル講座」「海外研修」「大学探訪」等、生徒の学習意欲の向上及び進路意識の高揚を目的としたキャリア教育の組織的な推進が必要。</li> <li>・模擬試験、平常講習、SSD、土曜授業等による生徒の学力向上への取組を一層推進する必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組は概ね良好である。</li> <li>・進路の可能性を広げる取組(初期指導プログラム)の導入成果をエビデンスを持って示せることを期待する。</li> <li>・新しいスクール・ミッションを踏まえ、生徒の「夢」実現に向けたキャリア教育の充実を期待する。</li> <li>・生徒の可能性を最大化させる取組になるよう大いに期待する。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路意識の高揚に向けた取組と学びの質の向上が一体となったキャリア教育の推進。</li> <li>・外部人材の活用も視野に入れ、効果的で効率的な模試や講習の在り方を検討。</li> </ul>	
保健安全指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的・計画的な教育相談体制の確立と生徒への支援が実施できた。</li> <li>・暑さ対策等のさまざまな危機管理における周知や徹底が一層必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組は概ね良好である。</li> <li>・生徒のメンタル不調に関して、教育相談の成果を期待する。</li> <li>・いじめは絶対許さない指導を期待する。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度から「教育相談部」を立ち上げ、誰一人取り残さない安心安全な学校体制を構築する。</li> </ul>	
公表方法	本校ウェブページに掲載	